



原爆先生の特別授業を受講して

じゆこう

表

各語は裏面に記入してください

Q112

ホールの中の空気が先生が話している空間の空気のように感じました。

今が今かと原爆に備えて待っている間のヒリヒリした空気。私はあの場面で、自分も原爆を待っているかのように

思えてしまいました。

そんな怖くてたまらないものが展示されている原爆資料館に入ったことがありません。

それなのに、本来の原爆はもっと恐ろしい、ということ自体がしゅう撃でした。

本来は、ホールの中の空気、原爆資料館などと比べものにならないほど辛くて苦しいのです。

しがし私は実際に原爆にあっていないため、伝えられません。言葉や映像だけでも、到いて、伝えきれません。それこそ、自分の無力さに苦しむだけです。

それでも、その無力が自分でも感じて伝えられることだ、とあると思えました。一人でも心を動かすことが出来れば、嬉しいです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前を裏面に記入してください

2/11

ぼくが今まで考えていた原爆のおそろしさをこの授業を通してあらためて
その威力、そしておそろしさを分かりました。

私たちは5年生のころ戦争レポートという物を一人一人が戦争について
詳しく調べました。実際に戦争を体験し海軍兵学校に行った
曾祖父からたくさん聞かされたが、この授業ほど詳しくは僕もまだ知りません
でした。

今、私達の生きる時代では日本はとして平和な国だけれど私は実際の戦争
は体験しなないので、その戦争の真のおそろしさを知りません。けれど詳しく知
るにつれて体験しなくてもその体験した人々の感情、気持ちなどが
少しはつたあてきます。

日本は大きな被害をおかしたためにたくさんの方々が亡くなりました。
今でもまだ苦しんでいる人もいます。過去を変えて変えることは出来
ません。けれど未来は変えられればより多くの人々が戦争が引き起さ
さまざまなことを知ってもらうことにより世界の国々をより平和な所に導ける
と思いたったので世界の一人一人が戦争は止むべきでないことあり二度と
引き起してはならないということを理解してもらうことが世界平
和に繋がると思っています。そして次世代に平和な世界をつかせることが
出来るよう努力すべきだと私は思っています。



- ・原爆の授業を聞いて原爆はもう二度と起こってはいけない事だと分かった。
- ・原爆の事を小さな子供達に教えてこの出来事が忘れられないようにして行きたいと思った。
- ・原爆の事は前から知っていたけれど、この授業を聞いてあらためて原爆の恐ろしさを知ることができた。
- ・この授業を聞いて「聞いたことのあるもの」と「初めて聞いた」ものの二つがあり、「聞いたことのあるもの」はあらためて知り「初めて聞いた」ものは新しく知れて二つとも自分にとって平のものとなった。
- ・広島の人達の命を奪った原爆をこれから自分の頭にしっかりと入れておきたいです。
- ・今の世の中ではとてもありえない原爆という出来事は今後絶対に起きないと言い切れないと思うのでその時はどうするのかと言うことをいつも自分の頭で考えておきたいと思えます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

各前は表面に記入してください

2/12

自分が、思っていたより、原爆の凶悪さが分りました。
こんなに強い爆弾によって、せくなうめた方々にどう言葉を
かけたら良いか分からず、その事を考えながら話を聞いてい
ました。

原爆によってたくさんの方の命が奪われる事をもう二度と
おこしてはいけない事を己文で実感しました。
太陽よりも小さいのに、太陽よりも熱い。そんな球が、
600m上におり、熱風、衝撃波、放射線を放出し、
それによりたくさんの方の命が奪われる。そして、水蒸
気が立ち上り、大きなキノコのような不気味な雲になる。
その不気味な光景、戦争によって、後世の人々に、見せ
たい。そして、戦争をおこさないように、日々努力してい
たい。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/12

お話の時に音や表情などとても分かりやすかったです。
特に音はリアル感がスゴク私達も、今広島にいるような
感覚でした。

お話のしかたもとても上手で想像しやすかったです。
原子爆弾投下都市の条件があるとは、知りませんでした。
社会の授業では、原爆の細かい事は、教えてもらって
いないので、沢山新しい事を学びました。

原子爆弾の威力や原子爆弾の熱さなど大きさまで、細
かい所まで教えていただきありがとうございます。
私は、一度図書室にある戦争の本を読んだ事があります。そ
の本には、黒い人間のようなものが沢山積んである真
写がありました。その遺体は、手を前にだしているの
もあれば、子どもを抱いているのもありました。
画像にあ。た、資料館の手や顔をやけどしたのを人形のを
見て図書室にあった本の写真を思い出しました。

どんな事がどんな風にどんな姿をしていたの
かは、私には想像出来ません。でも、私達がその事
を忘れずにこれからの人達に伝えたいです。池田先生
が私達に教えてくれたように。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

各所は紙面に記入してください

2/12

まず最初に感じたのは知らないことは"カリタ"なという
ことです。
(私の知っている知識
とは違うものなど。)

例えば候補になった都市で東京が入っていたこと。
京都が一番おされていたこと。

なぜ京都が除外されたか？
古い都であり重要な文化財があるため。
という理由も初めて知りました。

原爆による空気の温度が7000℃という太陽の
表面温度よりも高いというのにはとても驚き、
ぞっとしました。原爆が落ちた時の音も原爆先生が再現してくださった
元安川に死体があふいていたこと。皮肉が指先者中
からたれさがっている人々。けがからうじむしがわいて
いる女の人。死亡率40%という数字。今までは
単にそういう悲さんなことがあったんだ、というように
捕えていましたが、最後の原爆先生のお父様
文を読みながら泣きそうになり、いるえている重カ画を見た
とき、本当にうらぐ、悲しく、実体験者の人にしか分から
ない想像を超えるできごとがあったのだと痛感し
ました。

私も広島原爆ドーム、資料館に行ったことがあります。
原爆先生のお父様が言った通り、衝撃を受けました。
しかし、本当はもっとひどいであり、生々しかったのだということ
心に留めておきたいと思ひます。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前を縦面に記入してください

2/12

実際に原爆を体験した人の立場に立って授業を行うことにより、原爆の恐ろしさがとても伝わってきました。また、実際に音を使うことによって、自分がそこにいるかのような情景が頭の中に広がってより恐ろしく感じました。

授業を行う際に資料などに図などを使っていてとても分かりやすかったです。

受講している際に、被爆者の様子を率直に言っていて、被爆者の苦しみや痛みなどが言葉にできないほど伝わって、心が痛くなりました。

これまで学校の授業で学んでいた、~~十五年戦争~~という戦争のたった一つの原爆がどれほど恐ろしく痛々しいものかということがよく分かり、たった一つという言葉では表し切れないということを実感しました。

このように、原爆や戦争はとても恐ろしくとても痛々しいものだということを実感しました。また、次の未来をまかされる小学生などに、原爆や戦争の話をするのはとても大切だということがあらためて分かり、この特別授業を続けてもらいたいと思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前を裏面に記入してください

2/12

私は以前、原爆資料館に行きました。その時の展示物はどれもおそろしいものだらけでした。当時の手紙の内容や遺品が頭に残っているほどでも怖かったです。しかし、本当はもと天地かくまうようなぜんまいが広島で起っていたということも改めて知りました。肉がはがれるなんて一度も想像したことが無かったです。先生の口での爆発の音で皆ふるえ上がっていましたが、当時は口には出来ないような爆発風景が広島に広がっていたのではないのでしょうか。

学校では5年生の時に戦争レポートというものを書いていて、私はその時にマレー半島の攻撃について書きました。ですが、国内で豊かに暮らしていた人々の上に突然原爆が落とされたことに深い悲しみを感じます。そもそも、日本がポツダム宣言をもっと早く受たくしていればこのようなことにはならなかったかも知れません。被爆者には冥福を祈ります。

今では日本は豊かな国は広島原爆の慰霊碑にアメリカのオバマ前大統領や、ローマ法皇が追悼のいさげをこまげていますが、世界ではまた、戦争や紛争が絶えません。夜したニュースを聞くたびに仲良くすればいいのにと思います。被爆した広島のようなことが再度起こってほしくない世界中の人が思っているはずです。

原爆先生の特別授業で原爆戦争への私たちの覚悟が深まりました。今日は本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

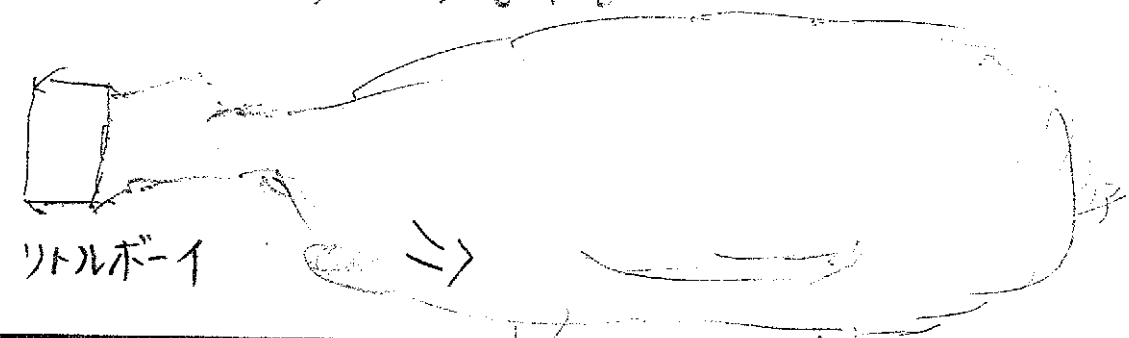
名前を裏面に記入してください

2/12

原爆、ていうのは、100tぐらいある物だと思っていたけども、と小さい物だと知ってびっくりした。死亡率が40%というのはものすごくびっくりしたし4tでこんなんなら当初予想していた(僕が)100tとかなら、100人生きているか分からないぐらいだったと考える、恐ろしさが凄かった。6つこうほがあったが全部天候が悪かったら、かてな予想トドメをさすために、東京などの都会におとされたかもしれない。そうしたらもって死者が多かったかもしれない。島で良かったというわけではないが、東京で起こったら恐ろしい。でもなぜ東京じゃなかったのか？首相か入っているにぶち込まなかったのか？それちょっと分からなかった。

あと、凄々と思ったのは、真空になったということと「温度」だ。

真空というのほうちゅうみみたいな物だから、この高さでなるのはものすごいと思った。このげんはぐのこと
中心が百万℃っていうのは、どこをどうやればそうなるのか？想像もかなしい。





原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/12

特別授業を受講して、今まで、原爆などはくわしく調べたことがなかったのでくわしく知ることができてよかったです。

話を聞くまでは、なんしなく想像していましたが、内容は想像を絶するものでかなりびっくりしました。

話の内容から被爆した人たちの姿を想像するだけでも、気持ち悪くなってきたのに、これを我慢しながら作業していた、義三さんは凄いと思います。

原子爆弾の威力、おそろしさを改めて、実感することができました。

二度とこのような惨禍が起こることの無いよう、次世代を担う自分達も努力しようと思えました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

各頁は裏面に記入してください

2/2

1度、戦争について調べたことがありましたが、その時
おももどくわしく、そして多くのことを学ぶことが
できました。

また、その時の事を想像しながら聞くこと、見るこ
ともできたので、良かったと思います。

その中でも、心に残ったことがあるので紹介します。
とても小さなことですが、資料にある、原子爆弾を投下
する場所の候補になっていた横浜、新潟、京都の京都
についてです。京都は住宅が密集しているためとても良い
と、目標にしていたが、京都には、重要にされている
お寺などがあるため取り消しに。日本人の気持ちに
な、て考えていたことに、私はおどろきました。
もちろん、原子爆弾を日本各地に落したこと。
あるいは、戦争を始めてしまったことは、決して
良いことではありません。だからこそ、この授業で学ん
だことを忘れず、二度と戦争をしない世の中にして行き
たいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

各語は添画に記入してください

2/12

先生の授業を受けて感じたのは、共感として義務です。

共感というのは、ぼくの体験からのものです。

ぼくは、両足と手のひらに、大きめのやけどを負ったことがあり、皮ふがはがれたり、水ぼうがでまたり、どうめいな液が出てきたりして、小さいころのぼくには、たえがたい痛みでした。その痛みが全身に広がり、さらに深く重いやけどを負った被爆者の方々の苦痛は、考えるだけで目をそむけたくなっています。しかし、われらの苦痛は、戦後75年近くたった今では、われら自身が伝えるのが難しくなっている。では、われら原爆を伝える人がいなくなれば、原爆の恐しさ、被爆した方々の苦痛などが忘れられ、再び原爆が使用される日が来るかもしれない。そんな日がおとされることのないよう、被爆した人々の痛みを、気持から消し去ってしまわないようにすることが大切だと思います。

そのために、亡くなった被爆者をしのび、原爆の恐しさを後世に伝えることが、今に生きる人々の義務だと思います。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/12

僕は本当の原爆とは何なのか知りませんでした。
 なのでこの授業を受けて原爆というものは人々の気持ち
 を傷つけてしまう世にあってはならない危険なものだと
 いうことを知ることができました。
 このような日本があったと知って今生きている僕達は幸せな
 性を送っているんだなと思いました。なのでこれから人生でも多
 くの人の悲しませることはあてはいけません。それには今まで
 の日本におきた悲しい出来事をたくさんの人に知ってもらわな
 ければなりません。なので僕はその小さな一つとしてでもまずは親
 に原爆のことをくわしく教えてあげたいと思います。
 そしてたくさんの方が原爆のことを知ったら、過去におきた
 原爆で何がいけなかったのが探究して今につなげれば
 このようなことはおきないと思います。
 貴重な体験談を話してくたさうありがとうございます。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

各頁は裏面に記入してください

2/12

原爆のことについては、授業などでも習っていました。ですが今回の原爆先生の授業を受けて、細かきところや、くわしいところまで知ることができました。そのため、改めて原爆のあそびさ、そして、人が亡くなっているのがとても悲しく、辛いことなのかも知りました。

なので広島長崎に原爆が落とされたことは絶対に忘れてはいけない出来事だと思ひます

原爆が落とされた後、被災地に行った兵隊の持ち帰った大変汚れたと思ひます。原爆の被害にあつた人達の体の様子などを聞くことができました。でも、それほど大きな被害だつたということでは、

なので、それ以外の辛い出来事はもう起きない所にしてほしいです。そのため、できることはあるはずです。その気持ちをこの授業で感じさせてくれました。そして、この授業が、経験になりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前(裏面に記入してください)

2/12

私の、祖母は広島に住んでいます。

普段はあまり、原爆の事は話しません。今日の授業を聞き、とても、恐怖と感動しました。

この前、テレビで原爆を体験した方々のお話がありました。その時は、あまり恐怖は感じず、(大変だったんだな)としか思いませんでした。

そして今日になり、あまりの恐怖で(足がふるえてしまいそう)その様な感覚です。

手を差し伸べて、その手をにむくと皮膚が落ちてしまう。事かとても印象に残っています。

感動した理由は、義三さん達がたくさんの苦勞をかけて、亡くなった人、焼けたたれた方を助けその方のために何かを助けた事です。

自分は何もしていないのに、自分のためだけにではなく他の人を助ける事が素晴らしいなと思いました。

私もその様に他の人でも、互いにでも、助け合えたら、良いなと思います。

最後の映像を観て、体験した人は(この様に思っていたんだな)と思って感動しました。

次に祖母に広島に会いに行く時は、今日学んだ事を思い行きたいなと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前を裏面に記入してください

2/12

私は、今日の原爆先生の話を聞いて、戦争は絶対にやめてはいけないと思いました。原爆を落とされた人達が亡くなってしまったのは、非常に悲しいことだと思います。私は広島にいつか事があるので、もう一度原爆先生の話を聞いてもう一度知っておいて良かったです。私は、戦争を体験した人達は、大変な生活をしていたことだと思います。私はこれからも戦争を絶対にやめてほしいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前を裏面に記入してください

217

ラジオコンテは手で持つと重いのが気になりました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前を紙面に記入してください

2/12

かなり凄惨な内容だったが、疑者などが使われていたり、精密な表現がされていて、理解しやすかった。
また、原爆で大勢の人が亡くなり酷い当時の光景はアメリカは卑劣極まりない、まるで悪鬼が獄卒が人々を根絶やしにしようとしている様に思ったが、思い返せば、日本にも非はあり、どちらが「悪」とも言えない事に、とてもどかしさを覚えた。

被爆した人々の痛々しさ、おらにも訴がる思いで言った「且かけて」の一言、そして見捨てられ無情にも死んでいった人たち、痛いと思う間もなく死んでいった人たちの、生きたかったという思いが、とても私にはうつかった。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

2月12日

私は、原爆先生の特別授業を受講して、自分も原爆を体験した人のように、心を実感出来たような気がしました。なぜなら、原爆先生の話を聞いている時、体がぞわぞわと来たり、怖くなったりしたからです。前より被爆者の気持ちを分かるようになりました。気持ちを分かるようになったのは、資料館の人形の体がとけてしまったりしている人を見たり、「且かけて、兵隊さん」と言っている人を見たりしたからです。原爆先生の言葉を聞いていなければ、気持ちはそのままだったかも知れません。原爆先生、ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/12

原爆先生の特別授業を受講して、原爆のおそろしさをあらためて感じました。

もし戦争をしていなければ、原爆は落とれなかったか、もしないと思えば、やっぱり争いは無くないと思えないと思えました。

このこんな事件を絶対に忘れてはいけないと思えました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

先生のお話は、とても臨場感があった。
説明もとてもわかりやすく、実際はマンガや本など
で見ているものよりもずっとあることがあった。
思っていたことと全然ちがうところがあった。
は、りあって、本当はどうなっているのかということもあ
かった。
ほ"くもこの言語でこの原爆のことに興味をもて
た。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

各前は裏面に記入してください

原爆先生の父の話を読み、原爆の恐ろしさは改めて感じられました。

しかも原爆の中心温度が100万 $^{\circ}$ で、外周が太陽の外周の6000 $^{\circ}$ よりも高い7000 $^{\circ}$ という破壊的な温度なんて思いもよりませんでした。外周が7000 $^{\circ}$ にもなる兵器を造り上げてしまったアメリカが、何十万人もの人間を殺してしまったのは事実ですが、日本が戦争をやめなかったことにも責任はあると思います。なので原爆先生の授業を受講して、改めて、戦争は悲しいもので、地球全体の何の利益にもならない、ということを感じてとてもよい機会になりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前を裏面に記入してください

2/12

原爆先生、今日は原爆した際のお父様の話を聞かせてくれてありがとうございます。うございました。

先生の語りは、とてもすばらしかったです。とくに原爆が落下した際の音は、静けさを使って、また、プロのわざでした。

これからも後世に伝えて下さいます。今日は本当にありがとうございます。うございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/12

原爆先生を授講して

広島に投下されたリトルボマー一発で、一瞬間の間に14万人の命が
奪われ、そして、死体にもなれず、かけとなり捨てた人のくやしさを
おなじですが、とても感じられました。

そして、広島「原爆ドーム」、爆心地などをめぐり、もっと深く知りた
くなりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/12

最後の方に見た原火晃先生の父が話をしているビデオがとても印象的でした。なぜなら、たまたま思い出すだけでもつらいのにそれを言葉にして伝えているのがとても勇気ある行動だと思ったからで、本当につらい人はその事を話さばい、でもつらいのがまんして話さなければ、またこの様なつらく、かなしい事がまたおきてしまう。
その様なことで原火晃先生の父はすごいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は縦面に記入してください

こういう講演会にありがちな、みんな映像を見始めるまでの時間の使い方ではなくて、きちんと原子力爆弾の化学的か、せいも入れてあって、あきることなく、特別授業を受講できた。また、被爆者の息子にも関わらず、かなり冷静な口調での講演であり、実際祭の被爆者(原爆先生の父)の体験談もくめた。分かり易い授業だったと思う。これらの点を高く評価したいと思った。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/12

僕達の学年では5年生の夏休みに「戦争レポート」というものを作ったので、ある程度は原爆については知っているつもりでしたが、実際に池田先生の授業を受けて、僕が知っていたことは、原爆の一部だけでした。

「原爆はこわい」「原爆はダメだ」という一通りの考えだけでなく、

「原爆のどこがどうこわい」とか「原爆のこの部分はこう危険だからダメだ」という一歩踏み込んだ考えを持つようになった授業でした。

戦争が終わってから、75年という月日が流れました。ですから、戦争もどんどん風化していき、忘れてしまっています。

この原爆も、どんどん人々に忘れられていき、忘れてしまわれます。だからこのおそろい原爆について、これからも日本は忘れてはならないし、他の国も原爆について、しっかり理解し、「核を無くそう」ではなく「核を絶対に撲滅する」という強い信念を持つ、考えるようにしてほしいです。

今日は本当にありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

各前は裏面に記入してください

2/12

原爆がおそろしい、二度と繰り返しては行かないという認識がより強くなった。これからは原爆による悲劇が再び起きることがないように、自分ができる活動を積極的に行っていきます。また、今回の授業でも話題になった原爆の科学的な部分、例えば原爆によって起こる自然変動、被害、原爆をどうやって作ったか、原爆のしくみなどについて、原爆の背景にある国の動きなど原爆にかさんでいる事例について興味をもっと深く部分まで調べていきたいと思います。そして原爆のおそろしさが忘れられずにはいられないと感じた。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/12

原爆先生の授業を受講して戦争は本当には
ならないことだと改めて思いました。

原爆については、学校や塾などで学びましたが、

実際に体験された方の日記などに読された話を、

聞くことは初めてで、戦争のことについて改めて、

考えることができました。

原爆は一瞬にしてたくさんの人の命を消したり、

その後被爆による後遺症で亡くなる方もいます。

そのような原爆たとえ存在しても兵器として、使用するの
はよくないと私は思います。

このことは、原爆だけでなく他の兵器などにも
あてはまると思います。

原爆などの兵器はたとえ存在しても、人々に危害を加える

のではなく、人々に利益をもたらすため使うべきだと

この授業を受け、思うようになりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/12

僕は、原爆の怖さを改めて知ることができました。
 いまだ、学校の授業や、原爆を知る経験を
 何度か体験してきましたが、今回の授業で最も
 よく理解できました。

やはり先生が具体的な音のせいげんや、
 自らのお父さんが実際に経験したという事で、
 とても分かりやすかったです。

また、話しの中でアメリカ軍に対し、とてもおどろいた
 ことがありました。
 それは、京都への原爆落下をやめたことです。
 理由は、京都の文化財を守るうとしたとの
 ことです。やはり、「どちらも人間同士で争うだけ」と
 分かりました。

これからは原爆が使われない世界になっ
 たらいいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



名前は裏面に記入してください

3/2

池田先生のお話では、表現が非常に分かり易く、死に
 想像つくものでした。また、今回の講義を受講して、原爆の恐し
 さに、悲惨さに改めて、ふれることができた気がします。表現の死体
 の形相が、原爆だけでなく、戦争そのものの恐しさが伝わっ
 てきて、無惨さに、驚愕しました。知識として、知っていたものの被
 爆者一人一人の心境にふれることはあまりありませんでした。
 この機会のことを胸に刻み、日々邁進していきたいと思ひます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前を選択欄に記入してください

原爆のいはいがよくわかった。
 あと原爆のおそろしさは
 にしげんの肉がたれてくる。
 あとにしげんの肉がたれるとトラ
 がかころびをちたります。
 あとげんはしとうむがげんは「け
 まちるまは広島県将防力食
 かったてほしもしい^ませんでした。
 だからすごいことばったり
 原爆先生にすういそおいき
 らいました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

右前は裏面に記入してください

3/12

今日の原爆先生の特別授業を通して思った事が二つあります。
一つ目は原子爆弾が投下された時の時速が300km
で広島に落とされたと聞いて信じられないくらいに敬ました。
二つ目は原子爆弾の威力が放射能だけでなく熱風
や衝撃波までもが、爆心地を恐れ人口の40%が死
んでしまったのも敬ました。
このことからとてもいい経路費ができてしかたです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゆこう

表

名前を裏面に記入してください

2/12

原爆先生が話された中に出てきた、「皮ふがズルズルとはがれ落ちる」や「皮ふより赤い肉」、「魚がくさったようなにおい」等の言葉を聞いた時、背筋がゾクとした。その様子を想像してしまった。想像の中のその様子はこの世のものとは思えないひどいものだった。しかし、実際の様子は私の想像と比べものにならないだろう。改めて、同じような事を二度と起こしてはならない、そう強く思った。

また、資料を使い進めていく時、初めて原爆の投下地の候補の都市の中で京都が一番強く推されていたことを知った。さらに候補の広島、小倉、長崎の天候が悪かった時には計画が断念されていた、ということも知った。天候がどの都市も悪ければ良かった。私はそう思わざるをえない。

そして、原爆投下の際、リトルボーイは時速300km以上の速度で落ちていき、地上600mの地点で爆発、その時の地上の温度は3000℃。その事実には私は一番おどろいた。

貴重な話を聞かせて頂き、ありがたいという気持ちでいっぱいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

※前は裏面に記入してください

2/12

・受講して思ったこと

私は、まず第一に、戦争なんて絶対に起こしてはいけないと思いました。起こしてはいけないということは、前から知っていたけれど、原爆先生の話を聞いて、何万人もの尊い命をうばったこと、これから先、私たちが二度と犯してはいけないことだと思いました。

また、初めて知ったことも、受講をして沢山ありました。それは、候補になった都市で除外された京都が候補の都市の中で一番目をつけられていたことです。理由は、原爆の効果が一番期待できる土地だったからです。ですが、候補から除外される理由にも納得しました。理由は、一世二百年を越える人間にと、重要な文化財だからということです。

そして、最後に被爆者である原爆先生のお父様のビデオで、お父様の義三さんが感極まって声が出なくなってしまう場面や、義三さんも原爆先生も語っていた原爆のひどさ、思いに感動しました。最初にも言いましたが、戦争なんて絶対におかしてはいけないと思いました。

二度と戦争などおこさないように、今度は、私達が守っていく番だと今回の原爆先生の話を聞いて思いました。



原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は今まで原爆について考えたこともなかった。なぜなら
 原爆に「こわいイメージ」しかなかったから。だから原爆先生の
 話しを聞くのが本当はこわくて、とても聞きたくなかった。
 やはり原爆の話はこわかった。しかし原爆先生の話し方が
 うまかったせいか、とても興味があっていた。ふだんの授業
 では味わえない、臨場感があり、本当に原爆がおちている
 ような音が出た時は、感じたことのないくらくらした。
 たくさん原爆のことがまなべてよかった。